

令和3年度南部町教育行政主要施策の点検・評価

教育方針・主要な施策	意見	点検・評価委員会の質問、事務局回答
<p>1. コミュニティ・スクールを基盤とする保・小中一貫教育を推進するとともに、地域と協働した「まち未来科」の学びを充実・発展させます。</p> <p>(1) 中学校区コミュニティ・スクールの推進</p> <p>(2) 保育園年長児からの「まち未来科」(10年プログラム)の実践と検証</p> <p>(3) 4者対話による学校づくり会議の実施</p> <p>(4) 「協同学習」の充実</p>	<p>○(1) とても意義ある取組みと思います。更なる充実と継続を期待しています。</p> <p>○(2) 小中に加え、保の連携もあれば流れとしても理想的だと思います。</p> <p>○中学校区を単位とするCSは、小中一貫教育推進においてとても効果的である。</p> <p>○ICT支援員の年間520時間もの配置は学校現場にとって大変ありがたいのではないかと(学校の年間標準授業時数1,015時間なのでその半分)。</p> <p>○P87 小学校教育振興費 教育備品購入 トロンボーン 114,400円 ユーフォニアム 228,800円 ・修理依頼受け付けます。 使わないままの楽器はありませんか? (国立音楽院南部校 管楽器リペア工房)</p> <p>○P88 地域とともに歩む学校づくり推進事業(小学校) ・長期宿泊体験活動 環境が許せば、ぜひ実施していただきたい。小学生のうちに一宿一飯以上の集団生活を体験することが、みんなと生きる礎になる。</p> <p>○P100 地域とともに歩む学校づくり推進事業(中学校) ・中学校区CS グランドデザイン策定すばらしい!パン</p>	<p>○(1) それぞれの中学校区コミュニティ・スクールはどのように展開されていますか。特徴は。</p> <p>→(事務局回答) 中学校区でめざす子ども像や活動目標について熟議をすすめ、それを各校のCS委員会(二小は学校運営協議会)の取組につなげています。 学校運営については、学校運営協議会やCS委員会において、各校の学校評価を資料としながら協議し、共に次の一手を考え、継続的に改善していく体制をとっています。 また、学校評価にコミュニティ・スクールに関することが位置づいておりますので、学校運営協議会やCS委員会の運営についても評価・改善をすすめていきます。</p> <p>○中学校区の学校運営協議会と各学校CS委員会でのPDCAサイクルがどのようになっているのか(それぞれ開催回数など違う中で、工夫されている点などはあるか)。</p> <p>→(事務局回答) 上記回答に含む。</p> <p>○(2) 保小中の流れのなかで、一貫性は図られているのでしょうか。</p> <p>→(事務局回答) 「まち未来科」の4つの力(ふるさと愛着力・将来設計</p>

	<p>フとかになっていますか？</p> <p>○コロナ禍でご苦勞があると思います。工夫をしながら校区 CS の活動を進展させていただきたい。</p> <p>○外国語指導助手については同じ ALT を継続的に配置され、指導の充実とともにその効果が上がっているように思います。小中一貫した外国語活動や英語教育を進めることで、より一層の英語力の向上を期待します。</p>	<p>力・社会参画力・人間関係調整力) を発達段階に応じて明確にし、それを育むということに一貫して取り組んでいるところです。</p> <p>○特別支援教育コーディネーターや幼児教育・保育専門員、ICT 支援員、学習支援員、学校司書等いわゆる「専門スタッフ」の配置に、課題はないのか(そもそも人材確保は、求人を行えばしかるべき方を容易に任用可能なのか/現場の教員との連携・協働はうまくいくものなのか/各専門スタッフの力量・資質向上への対応)</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>町内・外を問わず、幅広く資格や経験等の情報収集を行い、適切な人材確保に努めています。</p> <p>教委事務局所属の専門職は県主催の研修を積極的に受け、現場に還元するようにしています。</p> <p>学習支援員や学校司書は、課題に応じた研修を行ったり、定例会に指導主事が参加し助言したりするなど、事務局による資質向上を図っています。</p> <p>専門職それぞれの使命の理解や校長のリーダーシップにより、教育の一層の充実にむけて力を発揮しています。</p> <p>○一人一台のタブレット端末を配布して授業改善や児童生徒の主体的な学びを進めるために、教師の研修や支援員の入り込み支援されているとのことですが、実際の授業での活用状況どうでしょうか。また、コロナ禍において家庭への持ち帰りによるリモート授業や、家庭学習などに活用はされているのでしょうか。</p>
--	--	--

		<p>→ (事務局回答)</p> <p>令和2年度末に「1人1台端末」と高速ネットワーク環境を整備し、令和3年度は、「まず、使ってみること」からスタートしました。</p> <p>書籍や図鑑を使っていた調べ学習では、タブレット端末も活用し、インターネット上のデータや動画等、これまで以上に多くの情報に触れています。そして、必要な情報をタブレット上でまとめることなどに取り組んでいます。</p> <p>また、タブレット端末での文字のやり取りを通して、互いの考えに学び合う場を設けています。</p> <p>○P80 コンピュータ整備事業</p> <p>全学年コンピュータ学習</p> <p>タブレット端末の活用</p> <p>教職員 PC 貸借 78 台</p> <p>・学校教育環境の変化、授業の景色がかわったのでは？</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>上記回答に含む。</p> <p>・課題や問題点は？</p> <p>先生たちは（特に不得意な人）ついていけていますか？</p> <p>大丈夫かな？</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>本町では、令和3年度末に行った調査において、「児童生徒のICT活用を指導することができる」教員の割合が98.7%と高い数値を示しています。</p> <p>・これからの学校</p>
--	--	--

		<p>集合型学習から個別集合型学習へ。</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>ICT整備により、多様な形態での学習を可能とし、一人一人の学びの質をより高めるように努めています。</p> <p>○P86 小学校教育振興費</p> <p>教材費 (1~3年) と学級費の物品を購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4~6年の教材費は?</li> </ul> <p>→ (事務局回答)</p> <p>保護者の方に負担いただいております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級費全学年?</li> </ul> <p>→ (事務局回答)</p> <p>全学年を対象としています。</p> <p>○P88 地域とともに歩む学校づくり推進事業 (小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なんぶっ子塾」概要を教えてください。</li> </ul> <p>→ (事務局回答)</p> <p>令和3年度は、コロナ禍ではありましたが、学力補充補助として、主に見守りや励まし、まるつけ等を、のべ約70名の方に支援いただきました。</p>
<p>2. 子ども達が安心して学び、お互いに認め合い、高め合える保育・教育に取り組めます。</p> <p>(1) 不登校の未然防止、いじめ根絶に向けた取り組みの充実</p>	<p>○ (1) 不登校の未然防止は無論の事、現不登校者に対する働きかけを最重要課題として取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>○スクールソーシャルワーカーが南部町家庭教育支援チームに所属し、就学前の全世帯家庭訪問はすばらしい。</p> <p>○P5 不登校の未然防止・いじめ根絶は必要。不登校対策・対応として、居場所は多い方がよい。「さくらんぼ」だけでよいのか、ご検討を。</p>	<p>○ (1) 具体的な取り組みを伺いたいところです。</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>①校内教育相談活動、②必要な働きかけ (家庭訪問、面談等) や情報収集 (引継資料、園や小学校への聞きとり等)、③ケース会議の開催 (即時、定期) などに取り組んでいます。</p> <p>①及び②においては、対応に重要なアセスメントをより適切・詳細に行うようにしています。③のケース会議に</p>

<p>(2) 保・小中一貫した人間関係づくり学習の推進</p> <p>(3) 縦横のネットワークによる子ども支援体制づくり</p> <p>(4) 食育のビジョンづくりと実践</p> <p>(5) 学校給食調理業務委託事業</p> <p>(6) 食物アレルギーへの適正対応</p> <p>(7) 給食費の滞納処理</p> <p>(8) 給食センター施設・設備の改善</p> <p>(9) 学校給食センター運営委員会の開催</p>	<p>小学生 6 人、中学生 13 人 少ない数ではない。病気の長欠は自宅が居場所。自宅学習の制度を考える必要があるのでは。</p>	<p>おいては、チームとしての結論（役割分担・次の一手）をだします。その際、スクールソーシャルワーカーは、機関連携のコーディネート役や直接の支援者となり、評価・更新を積み重ねられるよう支援しています。</p> <p>○不登校対策に努力され、それなりの成果が出ているものと思いますが、不登校長欠児童生徒の人数はなかなか減少していかない現状があるようです。何か特徴的な傾向があるのでしょうか。</p> <p>→（事務局回答）</p> <p>令和 4 年度の進級時及び中学校進学時に各 1 名、高校進学時に 3 名、学校復帰を果たす児童生徒がありました。学校復帰のエネルギーを蓄積するまでの環境はどのようなものがよいのか、どのような働きかけがよいのか等、それを見極める児童生徒の背景が、家庭環境も含め、複雑となっています。</p> <p>○スクールソーシャルワーカーは、どのような経歴の方が任用されているのか。</p> <p>→（事務局回答）</p> <p>現在の任用者は、教員免許をもち、スクールソーシャルワーカー育成研修（県主催）を修了しています。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策事業</p> <p>どのように環境が整えられ、実際にはどう活用されていますか。（されましたか）。</p> <p>→（事務局回答）</p> <p>具体は 19、20 ページに掲載していますのでご確認ください。主に、空気循環・ICT・児童生徒の分散に関</p>
---	--	--

		<p>するものを整備し、安心安全な学校生活につなげています。</p> <p>○食育ビジョンづくりは？ 具体的実践とは？</p> <p>→（事務局回答） 「食の未来推進会議」や「食育定例会」において、義務教育修了までにつけたい力やめざす姿を協議・明確化することが重要であると確認しました。その過程で、現在の実践に意味づけをすることで、充実を図りたいと考えています。</p> <p>○食材の地産地消が言われる中で、地元の食材提供者が減少しており、その対策を検討中とのことですが、現状はどうなっていますか。</p> <p>→（事務局回答） 毎月1回の食材提供者との連絡会で旬な食材や作付けの状況を確認して、より多くの地元産の食材を提供できるよう調整しています。 担い手の減少は、産業課と連携しながら進めてまいります。</p>
<p>3. 0歳からの保育の質を高め、保育と学校教育のつながりを強化するとともに子どもが育つ地域環境の整備をすすめます。</p> <p>(1) 保育士研修の充実</p>	<p>○未満児が保育園に入園出来ない事態が続いているようです。子育て支援が充実しているとはいえないのではないのでしょうか。</p> <p>(1) 保育士の不足が生じているようです。賃金の処遇も含め、思い切った改善が必要と思います。</p> <p>○P24 部活動指導支援事業 ・文化部の指導はどうなっているのか？</p>	<p>○保育行政は首長部局が所掌することが多いが、教育行政として教育委員会が所掌することの利点は何か。</p> <p>→（事務局回答） 本町では、保育の質の部分のみ教委所管としているので、保育と学校教育の質に視点をあてた円滑な接続が可能になることが利点であると考えています。</p> <p>○「部活動指導員」と「運動部活動外部指導者」の違いは</p>

<p>(2) 園の経営マネジメントの確立</p> <p>(3) 研究保育の推進</p> <p>(4) 関連部局・機関との就学支援連携強化</p> <p>(5) 保小引き継ぎの充実</p>	<p>「文化系も休日は地域で 公立中の部活 25 年度までに移行」8月10日付け日本海新聞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動は教育課程外活動なので、学校教育から社会教育へ移行すべきだと思う。そのための受け皿、環境づくりが急務。</li> </ul> <p>○黄色い帽子の購入者は計画よりも少ないですが、昨今の通学時の自動車事故の例もあり、安全確保の点からも啓発を進める必要はないでしょうか。</p>	<p>わかるが、どちらを配置するのかは、学校の意向によるのか。</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>校長からの推薦により、学校と教育委員会の協議により決定しています。</p> <p>○部活動指導には教師の負担軽減の点からも、休日部活動の地域移行化や今後の部活指導員や外部指導者拡大の方向については考えておられるのでしょうか。統合型地域スポーツクラブとの関連も含めて現状を教えてください。</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>令和3年度は部活動指導員2名、運動部活動外部指導者3名の体制で実施しましたが、教職員の負担軽減の観点から、部活動指導員の一本化、増員に取り組んでいきます。</p> <p>休日の部活動の地域移行については、総合型地域スポーツクラブに協力をいただきながら、取組を検討します。</p> <p>○保育園とこども園の違いを教えてください。実際に活動等に違いがあるのでしょうか？</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>保育園は保護者が働いている場合に受け入れますが、こども園は保護者が働いている・いないにかかわらず受け入れます。</p> <p>すみれこども園は保育所型認定こども園ですので、他の3つの保育園同様、「保育所保育指針」に基づくことが前提となります。</p>
---	--	---

<p><b>4. 保・小中の連携を基盤としながら、地域や関連機関と協働した家庭教育の充実に取り組みます。</b></p> <p>(1) 子育てセミナーの充実</p> <p>(2) 親の学び・相談・仲間づくりとPTA活動の連携</p> <p>(3) アウトリーチ型個別支援の実施</p> <p>(4) 家庭や家族のあり方を考える場づくり</p> <p>(5) S S Wによる福祉との連携</p>	<p>○保小中と家庭・組織・地域の連携はとても重要だと考えます。</p> <p>また高校生サークルや新・青年団と良い流れが構築されていますので、期待出来ます。</p> <p>○支援を要する児童生徒の問題には発達障害に関する問題も多く、保から小への適切な就学指導がその後の学校生活にも大きく影響します。医療機関との連携を含めてスクールソーシャルワーカーの働きに大きな期待をしています。</p>	<p>○家庭教育支援チームによる戸別家庭訪問の利点は何か。</p> <p>また、訪問を快諾してくれるための工夫はあるか（学校の担任教員による家庭訪問に賛否があるように）。</p> <p>→（事務局回答）</p> <p>利点は、訪問対象となる保護者・家庭の全てと直接面談ができ、家庭と繋がりが持つ支援の足がかりとなっています。支援を届けることができない保護者・家庭を減らすことができています。</p> <p>町の家庭教育支援の取組みとして戸別家庭訪問があるという広報活動を行なっています。加えて、3回の訪問終了後に対象保護者から事後アンケートを取り、その結果と感想や意見を次期訪問に活かしています。</p> <p>○（2）PTA活動の連携とは？</p> <p>→（事務局回答）</p> <p>子育てセミナーや子ども発達支援セミナーをPTA研修に位置づけています。</p> <p>○（4）あり方を考える場づくりとは？</p> <p>→（事務局回答）</p> <p>南部町PTA連絡協議会の総会や研修会で家庭教育に係る話し合いが行なわれたり、生涯学習作品展では「漢字一文字」を通して家族を考える機会としています。</p> <p>○P43 アウトリーチ型家庭教育推進策として家庭訪問がおこなわれ、肯定的な評価が83%は素晴らしい。面談内容が良かったのでしょうか。メンバー構成も良かったかも。</p> <p>・残りの17%にはどんな意見があったのでしょうか。</p>
---	---	--

		<p>→ (事務局回答)</p> <p>残りの17%は「あまり良くない」14%と無答3%でした。理由としては、「あまり話すことはないし、忙しい時間だし、気を遣う」「時間が合わず、出会って話ができなかった」「話しにくかった」「その場での真剣な相談は難しいと思う」等でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同一地域振興協議会区域内の地元の人はやっぱり無理ですか。</li> </ul> <p>→ (事務局回答)</p> <p>保護者の心情を考え、訪問支援員は同一地域でないほうが良いと考えます。</p>
<p>5. 社会教育等関係施設を活用し、学び合い、つながり合う社会教育活動の充実に取り組みます。</p> <p>(1) 「はんどん楽校」の充実</p> <p>(2) 公民館活動の発信と地域への学びの還元</p> <p>(3) 他地域との交流や働く世代への学習機会の提供等新たな学びの創造</p> <p>(4) 図書館ボランティアによる図書館づくり</p>	<p>○公民館運営審議会や図書館運営協議会ではどのような意見交換がされているのでしょうか。利活用拡大のためにも公開していただければと思います。</p> <p>○複合施設でこそ出来る「公民館」「図書館」の連携事業を期待します。</p> <p>○両図書館の新聞受入数4紙は少ないと思うので、住民の要望を聞かれて増やすことを検討されてはどうか。</p> <p>○「大人の図書館の拡充」という発想はいいと思う。中でも、保育や学校教育にかかわる教職員をターゲットにした企画など考えられてはどうか(いまどきの先生方は、本を読まないと言われている)。</p> <p>○P47 公民館活動事業 「はつらつ青少年応援事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中止で残念！</li> </ul> <p>異年齢・多年齢交流につながる。</p>	<p>○P9 公民館活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・・他者のために活かすことができる「者」を増やす。</li> <li>・人材育成ですね。</li> </ul> <p>→ (事務局回答)</p> <p>公民館活動は公民館で学んだ一人一人が学びの成果を地域の中で生かすことで、全世代が生涯を通じて活躍し、地域の持続的な発展につながると考えます。</p> <p>○P53 板祐生記念館活動事業</p> <p>記念館収入        0 円</p> <p>前年度        5,685 円</p> <p>入館料ですか？</p> <p>どんな収入ですか？</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>祐生の用品は板祐生記念館用品会計基金で運営しており、余剰の部分については一般会計の収入となります。</p>

<p>の促進</p> <p>(5) レファレンス強化と大人の図書館の拡</p>	<p>公民館のコミュニティセンター化。</p> <p>子供が動く公民館は親年齢の成人も動く。</p> <p>○P75 図書館資料整備事業</p> <p>令和3年度 執行率 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実させようとする強い意欲を感じる。</li> </ul> <p>※行事等中止で志向しなかった予算は、どうなるのですか？例年より多いのでは。コロナ明けに特別な企画の予算にしてはどうでしょう。町が明るく、勢いづくような事業を思いついては。</p> <p>○図書館の運営にあたっては図書館司書の専門的知見はとても重要だと思います。専門性を身に着けた図書館司書の継続的な雇用をお願いします。</p>	
<p>6. 地域振興協議会と連携しながら、青年団体を核とする町づくりや地域課題の解決に取り組みます。</p> <p>(1) 地域振興協議会との連携</p> <p>(2) 高校生サークル及び新青年団の活動支援</p> <p>(3) 社会教育主事の養成</p> <p>(4) 社会教育委員のスキルアップと地域還元</p> <p>(5) 子ども会及び青少年育成町民会議の見直</p>	<p>○社会教育委員協議会・公民館運営審議会での話し合いの公開をお願いします。</p> <p>(2) 経験から、青年団は自立した団体であって欲しいと願います。</p> <p>(3) 社会教育士の育成にも取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>○南部町の社会教育事業・社会教育委員の活動は非常に活発で、目を見張るものがある。併せて、自町に留まらない近隣自治体との連携やオンラインを活用した他県団体との交流なども行っており、素晴らしい。南部町とつながった相手先とが win-win になることが、これからの地域活性化の一つの姿のようにも思える（“自前主義”からの脱却）。</p> <p>○補助金 町子ども会育成連絡協議会（高校生サークル、</p>	<p>○ (5) 見直しと再組織化とは。</p> <p>具体的にはどのような展開になっているでしょう。</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>現在、南部町青少年育成町民会議は7つの地域振興協議会を中心とした組織であり、それに南部町子ども会育成連絡協議会を加える形で、小学生から青年層までつながりを意識した青少年育成の推進を図りたいと考えています。</p> <p>○P39 青少年育成町民会議 284,000円</p> <p>各地域振興協議会…できるかたちで事業実施した。⇒どんな活動ができたのか知りたい。</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>手間山…玉ねぎの収穫体験等</p> <p>富有の里…イルミネーション等</p>

<p>しと再組織化</p>	<p>新☆青年団を含む) 240,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生年間 62 回 新☆青年団年間 82 回活動。すごい活動量。行政のお手伝いだけにならないように自主企画に補助金を期待している。</li> </ul> <p>「青年団体連絡協議会」で独立予算を持つべき。</p> <p>○P44 青年団活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年団主管で中学生を対象とした交流活動・企画・運営の取り組みを大いに推奨したい。</li> </ul> <p>○P45 「Nanbu まごころ便」お届け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・故郷を感じる機会にもなる。</li> </ul> <p>○高校生サークルと新青年団の活動についてはつながりを感じ、将来のまちを担う人材づくりや地域づくりへと向かっているものと考えます。今後の課題を踏まえて、より一層の活躍を期待しています。</p>	<p>南さいはく…炭づくり教室等</p> <p>法勝寺地区…農業体験（イモ・米）等</p> <p>大国…まめなかや畑（野菜作り）等</p> <p>天津…誌上文化祭等</p> <p>東西町…リサイクル活動等</p> <p>○「Nanbu まごころ便」お届け事業について、送るのではなく帰ってきたくなるような事業を検討する必要があるとされるが、現状で何かアイデアがあるのでしょうか。</p> <p>→（事務局回答）</p> <p>高校生サークル、新☆青年団の Instagram 等のフォロワーを増やしたり、ホームページを開設したりし、町内での活動の面白さ、町の現状、帰ってきた際の居場所の提案を発信します。</p> <p>○成年年齢が 18 歳に引き下げられることになり、「成人式」から「二十歳の集い」となるようですが、18 歳、19 歳に対する何かしらの事業を考えられていますか。</p> <p>→（事務局回答）</p> <p>18 歳成人の主旨や実情を鑑み、現在のところ 18 歳、19 歳に事業は考えていません。</p>
<p>7. 里地里山に学びながら、郷土の歴史や文化を保存・継承し、町づくりや地域づくり、ふるさとの誇りづくりに活かします。</p>	<p>○文化財保護審議会での議事録の公開を希望します。</p> <p>○各保存会の実態調査とその支援の模索をしていただきたいと思います。</p> <p>○祐生出合いの館の企画展示については、しばしば NHK 鳥取放送局のニュース番組内で見かける。しかし、会期がどちらかと短いように思え、町外からは行きづらい。</p>	<p>○金田瓦窯跡の保存について、有識者の意見を聞いて今後の活用状況を決定されるようですが、現段階で分かっていることがあれば教えていただきたい。</p> <p>→（事務局回答）</p> <p>窯跡のある地盤の状態を正しく把握しなければ保護策が立てられないとの指摘を受けています。ボーリング調査</p>

<p>(1) 法勝寺電車の有効活用</p> <p>(2) 各種文化財保存会活動支援の充実</p> <p>(3) 祐生出会いの館発信力の強化</p> <p>(4) 指定文化財の維持管理</p>	<p>自町民に留まらず、町外からも多くの来館者を迎えられ るように工夫されたい。</p>	<p>等で地層の状況を確認し、電気探査で地盤内部を面的に把握することを勧められているため、来年度以降に計画します。</p>
<p>8. スポーツ環境の整備を図るとともに、スポーツを通じた仲間づくり、健康づくりを推進します。</p> <p>(1) 年少期のスポーツ環境の充実</p> <p>(2) 体育協会の見直し</p> <p>(3) 中学校部活動と総合型地域スポーツクラブの連携強化</p>		<p>○スポーツ推進審議会の開催がなかったようですが、何故ですか。</p> <p>→ (事務局回答) 新型コロナウイルス感染症の波により実施できませんでした。</p> <p>○(2) 体育協会の見直しとは、「スポ net なんぶ」への移行ですか。</p> <p>→ (事務局回答) 令和2年度末で体育協会は解散され、加盟競技団体は「スポ net なんぶ」のマスターズクラブへ移行されました。</p> <p>○「スポ net なんぶ」の「正会員」と「利用会員」の違いは何か。</p> <p>→ (事務局回答) 正会員はスポ net なんぶ総会に出席される議決権のある会員で、利用会員はクラブなどの実際に利用されている会員。</p> <p>○高齢者の体力づくりについて、地域の公民館活動だけでなく、健康教室などの取組をスポネットなんぶで行うこ</p>

		<p>とはできないでしょうか。</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>スポ net なんぶでは、現状でも百歳体操等地域に出かけて健康増進に取り組み、高齢者の体力づくりの一翼を担っておられます。また、出張希望がありましたらサロン等にも出向いていかれると伺っています。</p>
<p>9. 人権感覚を磨き、身の回りの差別や不合理に気づく地域学習、行動化につなげる啓発活動の充実に努めます。</p> <p>(1) ミカエルセミナーの充実</p> <p>(2) 地域振興区別人権学習の充実</p> <p>(3) 町内企業施設研修の支援</p> <p>(4) 町民人権意識調査及び実態調査の実施分析</p> <p>(5) 人権総合計画及び実施計画の策定</p> <p>(6) 町人権会議の取り組み充実・強化</p>	<p>○隣保館運営審議会での議事録の公開を希望します。</p> <p>○隣保館運営といい、人権学習の充実といい、取組が充実していると思われる。次の「10.」施策とも関連してくることなので、一体的に取り組まれたらと思う（総務・学校教育課と人権・社会教育課との連携・協働）。</p>	<p>○コロナ禍で人を集めての啓発活動は難しいですが、これまで取り組まれていた活動を含め、なんぶ SAN チャンネルを活用した啓発活動に期待しています。</p> <p>→ (事務局回答)</p> <p>コロナ禍でも地域学習推進委員がそれぞれの地域で啓発活動を進めています。</p> <p>SAN チャンネルも含め、メディアの活用を検討していきます。</p>

<p>10. これまでの同和教育の歩みを踏まえ、地域や家庭と連携しながら保・小中一貫した人権教育の取り組みをすすめます。</p> <p>(1) 南部町 15 年人権プログラム(ミカエルプログラム)の実践</p> <p>(2) 保小中の保育・授業実践の交流と合同研修の実施</p> <p>(3) 隣保館と連携した地区学習会の充実</p>	<p>○隣保館運営といい、人権学習の充実といい、取組が充実していると思われる。次の「10.」施策とも関連してくることなので、一体的に取り組まれたらと思う（総務・学校教育課と人権・社会教育課との連携・協働）。</p> <p>○人権教育は目に見えた成果がすぐに出るものでもなく、保小中の授業実践と家庭への啓発をベースに、地道に学習を積み重ねること土台が積みあがっていくものだと思います。</p> <p>学校教育、家庭教育、社会教育の連携で成果を積み上げていきたいと思います。</p>	
<p>11. 多岐にわたる教育課題の解決に資する教育委員会事務局、保育園・小中学校及び社会教育施設等の体制(支援態勢)を整備し、教育行政推進体制の充実を図ります。</p> <p>(1) 組織の充実・強化</p> <p>(2) 主要な教育課題への取り組み</p>	<p>○ (2) 不登校児童生徒解消に向けた積極的な取組義務教育はその子の成長の上でとても重要な育ち期間です。その後の人生にも大きな影響を及ぼします。教育関係者のみならず、家庭・地域とも連携し学びの保障をしなければなりません。子どもは町の宝です。何卒宜しくお願いします。</p> <p>○ (2) 各種審議会協議会等の議事録の公開。</p> <p>どのような意見交換がなされているのかを町民に周知することにより、関心を引き興味を持たせ、参画の意欲を引き出すためにも必要と考えます。</p> <p>○今年度（令和4年度）は、職員の方の県外研修出張がぜひかなえばと願う。先進事例調査等は多くの刺激・知見</p>	

	<p>を得られると思われる。</p> <p>○今後も学校教育と社会教育の融合を図り、地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりが進展していきますように期待します。</p>	
--	--	--